

第6回世界水フォーラム(マルセイユ)への子どもたちの参加について

水に関する世界最大級の国際会議である「第6回世界水フォーラム」が3月12日から3月17日にかけてマルセイユ（フランス共和国）で開催され、日本の中学生・高校生を代表して6名が参加します。

2011年夏、日本全国から選ばれた水や川に関心のある中高生たちが東京に集まり、水問題とその解決策について、2泊3日で真剣に議論を行いました。

今回その結果を五つのテーマに分け6人の代表者が世界に向けて発信します。

世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011 実行委員会

<発表1>

発表日時：2012年3月14日（水） 13:00～14:30

場所：パルク・シャノ 日本パビリオン内 イベント会場
PARC CHANOT JAPAN PAVILION

内容：5テーマの発表（英語）及び、フランスの小学生12名と世界水フォーラム参加の意気込みについてエール交換をします。

<発表2.公式セッション “Children solutions! Let's discuss on water” (YI22) >

発表日時：2012年3月15日（木） 11:00～13:00

場所：パルク・シャノ・コンベンション・センター
PARC CHANOT Convention Center PP3-Acropole1

内容：5テーマの発表（英語）及び議論

<参考資料>

第6回世界水フォーラムへの参加概要

<参考HP>

世界子ども水フォーラム&フォローアップHP

<http://www.mizube-support-center.org/cwwf-f/marseille/index.html>

（訪問期間中、子どもたちがface bookで情報発信します）

問合せ先

世界水フォーラム・フォローアップin東京2011実行委員会事務局（河川環境管理財団内）

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9 住友生命日本橋小伝馬町ビル2F

TEL. 03-5847-8303 FAX. 03-5847-8309 e-mail. msc@mizube-support-center.org

URL. www.mizube-support-center.org 担当：藤兼、花田、菅原

<参考資料>

第6回世界水フォーラムへの参加概要



1. 参加期間

2012年3月12日（月）～17日（土）

2. 派遣主催者

「世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011」実行委員会

3. 場所

パルク・シャノ（PARC CHANOT）国際会議場（フランス共和国マルセイユ）等

4. 参加内容

- ①2011年夏に全国の仲間と議論した水問題の解決策について世界に発信
- ②世界水フォーラムの各セッションへの参加
- ③欧州の水に関する歴史的構造物を視察等

5. 日本の中高生の代表者一覧

NO.	県別	名前	ふりがな	性別	学校名	学年
1	北海道	作道 奏太	つくりみちそうた	男	北海道函館水産高等学校	高3
2	神奈川県	小林 夕里子	こばやし ゆりこ	女	神奈川県立平塚中等教育学校	中2
3	愛知県	田中 美穂	たなか みほ	女	名古屋市立桜山中学校	中3
4	兵庫県	松崎 理恵	まつざき りえ	女	兵庫県立芦屋国際中等教育学校	高1
5	広島県	重政 祐貴	しげまさ ゆうき	男	盈進中学高等学校	中3
6	福岡県	仲野 健太郎	なかのけんたろう	男	福岡県立東筑高等学校	高1

6. スケジュール（予定）

	3/12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土
午前	水フォーラム 開会式	マルセイユ下水 処理場見学	日本パビリオン で発表	Children solutions! (Y122)	アヴィニヨンの ローマ水道橋 ポン・デュ・ガール (世界遺産) を見学・視察※	水フォーラム 閉会式
午後	登録	水教育セッション (AP5-1) に参加	水と文化 ・子どもワーク ショップ (Y110) に参加	セッション、博覧 会、解決村等 を視察		

※世界水フォーラム以外のプログラム

7. 日本の子どもたちの発表

●テーマ1： How to decrease the victims of Water-related Disasters

(津波等の水に関する災害)

※小林 夕里子



●テーマ2： Hands-on activities at the river (安全な川での体験活動)

※田中 美穂



●テーマ3： Living together with aquatic life (水環境や自然環境の保全・復元・再生)

※重政 祐貴



●テーマ4： River Connects Us (暮らし、産業において必要な水)

※仲野 健太郎



●テーマ5： Water conservation is part of Japanese culture (水の歴史や文化)

※作道 奏太、松崎 理恵



8. その他

(1) 世界子ども水フォーラムと日本国内大会の経緯





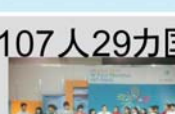





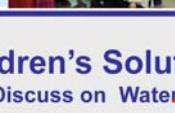
世界子ども水フォーラムは、2003年に日本（京都・大阪・滋賀）で開催された「第3回世界水フォーラム」において第1回が開催され、世界各国の子どもたちと日本のこどもたちが交流しながら世界各地の水問題解決のための行動等についての議論や発表を行った。

それ以来日本では毎年中高生を対象とし、大学生をファシリテーター役とした国内大会を継続、2011年夏の東京大会で第9回を数えており、これまでに403人の中高生、116人の大学生が参加した。

また日本からは、2006年第2回メキシコ（メキシコシティ）には7名の、2009年第3回トルコ（イスタンブール）には6名の中高生を派遣した。

しかし今回の世界水フォーラムでは「世界子ども水フォーラム」の第4回は開催されず、3月15日に「Children's Solution」として日本の子どもたちが発表・議論する公式セッションが設けられた。

世界子ども水フォーラムの経緯と マルセイユ大会でのセッション「Children's Solution」

	世界水フォーラム	世界子ども水フォーラム	国内大会
1997		第1回★109人32カ国	
2000			
2003	京都・滋賀 	第1回 	広島 2003★
		← 日本から50人★	宮城 2004★
2006	メキシコ 	第2回 107人29カ国 	東京 2005★
		← 7人★	丹沢 2006★
2009	イスタンブール 	第3回 150人21カ国 	福岡 2007★
		← 6人★	東京 2008★
2012	マルセイユ 	★ Children's Solution! Let's Discuss on Water 3月15日1100-1300 	岐阜 2009★
		← 6人★	北海道 2010★
			東京 2011★
			2012
			延べ参加者 中高生 403人 大学生 116人

★ 河川環境管理財団が事務局

(2) 日本代表の選出について

全国の中高生の作文応募の中から選ばれた 32 名が、昨年 8 月東京に集まり水問題とその解決策について議論し、発表、その過程で 6 名の派遣候補者が選出された。その後英語プレゼンテーションなどの 2 回の勉強会を経て日本代表が確定した。

(3) 実行委員名簿について

「世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 東京 2011 実行委員会」の委員は下記のとおりである。

委員名簿

(五十音順、敬称略)

	氏名	所属	備考
1	おおえ ちかし 大江 近	全日本中学校長会 会長	
2	おき たいかん 沖 大幹	東京大学 生産技術研究所 教授	
3	きたの まさる 北野 大	明治大学 理工学部 教授	実行委員長
4	こいけ つよし 小池 剛	国土交通省水管理・国土保全局 河川環境課長	
5	たけした たまじ 竹下 珠路	社団法人ガールスカウト日本連盟 常任理事	
6	ふじかね まさかず 藤兼 雅和	(財)河川環境管理財団 子どもの水辺サポートセンター長	
7	よしとみ ともやす 吉富 友恭	東京学芸大学 環境教育研究センター 准教授	